

ケアとコミュニケーションの心理学 「こころ」を伝える技術を学ぶ

フランスで考案されたケアの技術「ユマニチュード」は、
見る、話す、触れるという3つの感覚を巧みに組み合わせた
コミュニケーションによってケアを実践します。
本講演では、この技法の根底にある人間観や関連する心理学の研究な
どにも触れながら、優しさを伝えるケアとは何かについて心理学の
視点からお話しします。ユマニチュードの考えかたを手掛かりに、
親と子、先生と生徒など、さまざまなコミュニケーションの
あり方についても考えてみたいと思います。

ユマニチュードのことがよくわかる動画はこちらから。
事前に視聴してから講演を聴くと、さらによくわかります。



2019.11.27(wed) 17:00~18:00
(OPEN:16:30)

@ ANA クラウンプラザホテル広島 3階 オーキッドの間

無料・先着 500名様

(事前申し込み不要、直接会場にお越しください)



講師

吉川 左紀子

京都大学こころの未来研究センター特定教授
認知心理学・認知科学

対人コミュニケーションの基盤となる心のはたらきに関心をもっています。人についての記憶や知識
表象の形成のしくみ、他者の心の理解の基本的な特徴を明らかにすることが研究課題です。最近、円
滑な対人コミュニケーションを可能にする人の認知・感情・行動の特性を明らかにすることをめざし、
ケア場面における介護者―被介護者間のコミュニケーションに関する実証研究をすすめています。

問い合わせ先 広島京大会事務局 TEL (082)942-2853 (井上)

広島京大会は、県内在住の京都大学卒業生約1,000人からなる同窓会です

後援 中国新聞社、広島県、広島市(申請中)

吉川●左紀子

<略歴>

1977年 京都大学教育学部教育心理学科卒業・1982年 京都大学大学院教育学研究科博士課程認定退学
1982年 追手門学院大学文学部助手・1989年 追手門学院大学文学部助教授・1989年 英国ノッティンガム大学客員研究員
1997年 京都大学教育学部助教授・2002年 京都大学大学院教育学研究科教授
2007年 京都大学こころの未来研究センター教授・センター長・2018年 京都大学こころの未来研究センター教授
2019年 京都大学こころの未来研究センター特定教授

<講師による著書>

『よくわかる認知科学（共編著）』

『こころ学への挑戦（共編著）』

『感情科学（分担執筆）』

『高校生のための心理学講座：こころの不思議を解き明かそう（分担執筆）』

『ゆとり京大生の大学論（分担執筆）』等

<学会・社会活動等>

日本認知心理学会理事

日本ユマニチュード学会理事

京都市社会教育委員

京都市社会福祉審議会委員

京都市はぐくみ推進審議会特別委員

科学技術振興機構研究成果展開事業構造化チームメンバー

科学技術振興機構研究開発運営会議外部専門家

<受賞歴>

・1997 日本心理学会研究奨励賞

・2001 日本認知科学会大会発表賞

・2009 第63回国立病院総合医学会ベストポスター賞

・2017 日本心理学会優秀論文賞

・2017 日本心理学会大会優秀発表賞

・2018 京都府あけぼの賞

MEMO